

11 黒酵母β-グルカン経口摂取による血清脂質への影響に関する検討

¹高知大学医学部 臨床看護学, ²(株)高南メディカル, ³土佐市民病院 内科,

⁴(株)ソフィ, ⁵(株)ヘルシースマイル, ⁶高知大学附属病院 栄養管理部

○宮本美緒^{1,2}, 渡部嘉哉¹, 田中 肇³, 小松郁子³, 尾仲 隆⁴, 藤田 竜⁵,

宮原五彦², 伊與木美保⁶, 溝渕俊二¹

【目的】黒酵母β-グルカン(ソフィβ-グルカン:SBG)は、*Aureobasidium pullulans*が産生する水溶性β-1, 3-1, 6-グルカンを主成分とする物質で、厚生労働省から既存食品添加物として認可されている。本研究では、グルカン経口摂取による血清脂質に及ぼす影響について解析を行った。【方法】被験者50名にSBGを3ヶ月間経口投与し、摂取前と摂取後1月毎に計3回採血を行い、血清脂質を測定した。【結果】LDL-コレステロール(Cho)値は、前値119.2±5.34mg/dlに対し、3ヶ月後106.0±6.19mg/dlと低下傾向がみられた(p=0.054)。HDL-Choと中性脂肪は、摂取前後で差は認められなかった。【考察】パン酵母β-グルカンでは腸管での脂肪吸収を阻害する結果、Choが低下するとの報告があるが、この場合はHDL-Choも低下傾向にあった。しかし、本研究ではHDL-Cho値は全く変動していなかったことから、パン酵母β-グルカンとは異なる作用機序を有する可能性が示唆される。